

Windows VISTA 奮戦記

～ 導入は急がず慎重に！ ～

[菊地 博](#)

今年 1 月、パソコンの新 OS、Windows VISTA が発売されました。3 月に入り仕事が一段落したこともあり OS を VISTA にアップグレードしてみました。

仕事でデスクトップパソコンとノートパソコンを使っていますが、まず、どちらを先にアップグレードするか、パソコン本体を調査しました。ノートパソコンは、昨年 7 月に購入した、VISTA にアップグレード可能な機種です。デスクトップパソコンは主要業務で使っており、万一アップグレードに失敗すると困ることもあり、ノートパソコンをアップグレードすることにしました。

VISTA を購入し、“通常の”インストールを行い、インストールそのものは無事に完了しました。パソコンを起動したところ、デバイスドライバの不適合を告げるメッセージとソフトの不適合を告げるメッセージが出ました。デバイスドライバの不適合は事前調査で分かっていたので、直ちにバージョンアップしました。ソフトは削除すればよいと軽く考えていたのですが、実際にはそうではありませんでした。削除できない！ 調べたところ、“アップグレード前に削除しなさい”と書いてありました。

結局、アップグレードのもう一つの方法の“クリーン”インストールを行うことにしました。このインストール方法ではそれまで使っていたファイルやプログラムは使えなくなりましたが、“VISTA そのもの”は正常に使えるようになりました。

さて、ここで別の問題が起こりました。USBメモリの動作がおかしい。USBメモリを取り外そうと「ハードウェアの安全な取り外し」操作を行い「安全に取り外せませう」というメッセージがでました。しかし、何かおかしい！ USBメモリのランプが消えない！（Windows XP ではこのランプが消えました。）USBメモリのメーカーに問い合わせたところ“OSの問題で、XP では電源が切れるが VISTA では電源が切れない”ということでした。そのまま外しても問題なさそうですが、パソコンやメモリが壊れたら困るので結局“パソコンの電源を切ってから”USBメモリを外しています。

VISTA の新機能では、電源処理が進歩し再起動が早くなりましたが、AEROをはじめその他の機能は一見たいしたことなさそうです。さらに私が現在 Windows XP で使っているソフトやプリンタなどの周辺機器を調べたところ、そのまま VISTA で使えるものはほとんどありませんし、買い換えが必要なものも多くありました。なかには製造中止となったものもありました。なお、市販品でも VISTA に対応しているものはまだ多くありません。

もう 1 台の、デスクトップパソコンを VISTA にアップグレードするのは止めました。特に Windows XP で困っていることはなく、しばらく様子を見ることにしました。

Windows VISTA にアップグレードする際には、パソコン本体が VISTA に対応しているかどうかだけでなく、周辺機器やソフトが対応しているかどうか事前に十分調べることが大切です。新しくパソコンを購入する場合も同様です。